

広報

ふじかわ



3月号

●平成元年 3月 6日発行 No.332

町のメモ

平成元年 3月 1日現在	
人口	17,170人
増減	+42人
男	8,460人
女	8,710人
世帯数	4,532世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩瀬 121



はずかしいけど
今日は一日駅長
(富士川駅開業周年)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

お母さん 心の準備はどうですか



この四月に、町内では二百三十人の子もたちが、一年生になります。新しい生活のスタートとして、入学の日の期待に胸をふくらませる一方で、「楽しい学校生活が送れるかしら」と心配しているお母さんも多いと思います。そこで、新一年生を持つお母さん方に、さまざまな角度から、ワンポイント・アドバイスを掲載してみました。

子どもとのふれあいを大切にしたいですね

先生からのアドバイス

富士川町立第一小学校
朝原 久美子先生



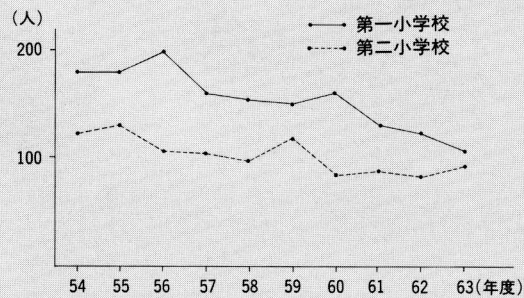
身の周りのことが できなくて…

人間は二本の手を持つています。自分でできることは、自分の両手を使ってやってみることが必要ではないでしょうか。しかし子どもは何をするにも時間がかかるものです。そのため、つい、大人が手を出してしまいます。友田校長がよく「目を離すな、手を離せ」ということを

新入学児童の数は減っています

過去十年間の新入学児童の数をみると、第一小学校、第二小学校とも、減ってきています。しかし、世帯数は十年間で三百世帯も増えているので、兄弟数は確実に少なくなっています。兄弟の中から生まれる子どもどうしの健やかな成長は、大切なことです。これから、隣近所の子どもを含めた地域のふれあいが必要ではないでしょうか。

10年間の新入学児童の推移



言いますが、その通りで、時間がかかっても黙って見ていてください。そして一人でできた時、ほめてあげてください。そうすれば子どもは意欲

的になります。できないと困るからとあせらないで、ゆっくり教えてあげれば大丈夫です。お母さんたちも、心にゆとりを持つといいですね。

もう すぐいちねんせい



字が書けなくとも大丈夫？

入学時、自分の名前が書けたり、数が十までわかることは望ましいことですが、勉強を早くから無理に教え込む必要

はありません。花を見て「きれい」と感じたり、空に浮かぶ雲を見て「ライオンに似ている」など、何かを発想したり、想像したりすることの方が大切だと思います。また、寒い時には寒さを感じとり、泣きたい時は大声で泣いたり、いろいろな環境の中で子どもが、体を通して感じとることも大切だと思います。

安全に通学 できるかしら

子どもたちが安全に通学できるように、学校では通学路を定めています。入学前にぜひ、通学路を二、三回、親子で歩いてください。そして、危険な箇所を話し合い、そこでの歩き方を子どもたちに教えてください。

また学校から家までの所要時間をお母さんたちが知っていることも大切です。これは帰りが遅くなった時「どこかへ寄り道しているのかな」とお母さんの目安になるからです。

家でしつけておきたいことは？

入学前に家庭でしつけておきたいことは、特別に難しく考える必要はありませんが、家族の意見や考え方は、一致してほしいですね。家族の人の意見がバラバラでは、それを聞く子どもたちも迷ってしまいます。

- ① 基本的な習慣として
 - ② ①自分のことは自分でする
 - ③ ②時と場に応じた正しいあいさつができる
 - ④ おしまいまで話せる
- 以上の三つができるといいですね。

食が楽しく食べられるかしら

給食時間は最初、一時間かけて食べますが、だんだん時間も短くなり、三学期には二

十五分ぐらいになります。「好き嫌いが多く、給食が食べられるか心配です」とおっしゃるお母さんがいますが、無理やり食べさせるようなことはしませんので、ご安心ください。食べられないような子には、最初からおかずの分量を減らしたり、パンを半分にしたりにしています。

全体的に野菜の嫌いな子が多いですね。家庭でも、野菜が嫌いなら、料理方法を工夫してみてください。みんな楽しく食べれば、嫌いなものも、おいしく食べられると思います。嫌いなものも我慢して食べるような子どもにしたいですね。

校生活はどんなふうですか？

一学期は基本的な生活習慣を身につけることに重点を置き、手洗いやくつ置き方から始まります。その後、学校めぐりをして教室や先生など、回りのものに目を向けていきます。

四月、休み時間になると、



入学したばかりのころは、おとなしかった子どもたちも3学期になると、こんなに元気に学習しています

毎日、私の手を握りに来た子どもがいました。理由を聞くと、「学校が広いから、迷子になると困る」と言いました。子どもの目に学校は、とても広い所として映るようです。学校に慣れるまで一学期ぐらいかかりました。最初はおどおどしていますが、そのうち友だちができ、その輪が広がります。二学期には、集団で遊びはじめます。そして、聞くこと、話すことも上手になります。

子どもたちも徐々に学校に適応していきますので、お母さんもあまり心配することはありません。

① つしよに考えていきましよう

子どもたちにも一人ひとり個性があるので、私たちは、その良さを引き出し、伸ばしてあげようと思っています。

困ったことがありましたら、いつでも学校に相談に来てください。そして、どんなことでもいっしょに考え、力を合わせて子供を育てていきたいと思えます。

忘れてならない交通安全



交通安全協会
 蒲原地区支部
 富士川分会長
 望月初男さん
 (旭町)



時間のゆとりがなかったり、忘れ物をした時など注意力が散漫になり、事故のもとになりますから、注意しましょう。

これまで比較的、家の近所で遊んでいた子どもたちも、通学するようになると、行動範囲がグンと広がります。学校への通学はもちろんのこと、新しい友だちの家へ遊びに行ったりすることも増えるでしょう。ここで気をつけなければならぬのが、交通事故です。交通ルールを教えるのは、家庭でのしつけの一つとしてぜひ、実行してみてください。

具体的な現場での説明を

一応の交通ルールが理解できても、子どもたちにはその場での判断が欠けています。手をあげて道路を渡るように教えると、子

お母さんがお手本を

大人の行動をマネします

信号機を無視して横断したり、駅前には歩道橋があるのに、大人が子どもの手を引いて国道を渡ったりする交通マナーの悪さが目立ちます。大人のルール違反は、子どもの交通安全に悪い影響を与えるので、親が、よいお手本を示してください。

先輩ママのアドバイス

子どものペースにまかせては

松野優子さん
 (南町二)



お母さんがゆったりと

私は子どもが小学校へ入学した時、楽観的に考えていましたが、「みんなと楽しく生活できるのかしら」「食べるのが遅いので、給食を時間内に食べられるかしら」などの不安もありました。

子どもたちもお母さんも初めての経験なので、見ることも、聞くことも、驚くことが多いと思いますが、そんなに神経を使わないことです。お母さんが、ゆったりとした気持ちで、子どもをあた

かく迎えることが必要だと思います。

食事にしても、つい、大人の好みで献立を考えてしまうので、きれいなものでも食べられるような調理の工夫も大切です。

PTAに積極的に参加しては

「仕事があるから」「忙しいから」と言わないで、PTAの役員は積極的に引き受けた方がいいと思う。学校や同じような子どもを持つお母さんと話しをする機会も必要ではないかしら。



**胸、ワクワクワクワク
 小学校をぼうけん**

子どもたちも「がっこうはどんな所だろう」「教室では何をやるんだろう」と考えていることも多いと思います。そこで、新入学児童に学校の様子を広く知ってもらうため、二月十三日に第二小学校、二十一日に第一小学校で「一日入学」がありました。

この新入学児童をあたかく迎えたのは、一年先輩でもある一年生のみんな。

運動場で顔を合せた後、お兄さんやお姉さんに手を引かれ、教室に向かう新一年生の顔は緊張していました。が、楽しい劇やダンスなどを見せてもらい、大きな拍手や笑い声が教室に響きました。また、勉強の様子、給食や休み時間の過ごし方など、学校の生活を手づくりの紙しばいで紹介してもらうと、一日も早く小学生になりたい様子でした。



「学校クイズ」に手を上げて答えます

楽しい劇に目が輝きます



みんなでこの会を盛り上げた一年生は「劇をやる前からドキドキしましたが、心の中で大きな声を出してがんばろう」と自分を励ましたり、「今日は朝からウキウキしていました。四月になれば二年生になり、お姉さんになるのが楽しみです」と話しました。

この会が終わるころには、みんな仲よしになり、入学している顔があれば、子どもたちもどんなに勇気づけられることでしょう。

静岡県青年の船に参加して

太田 智 恵さん(旭町)

昨年十二月二十八日から、一月八日までの十二日間、私は『第二十一回静岡県青年の船』で研修生として、中国での現地研修・船内研修に励みました。

この研修を目前にして、私が最も不安だったことは『船酔い』でした。しかしながら、そのようなことを考えている間もなく、複雑な心境で船に乗り込みました。

船での生活は、思っていたよりもずっと快適で、『揺れる』という最大の欠点をのぞけば、何一つ不自由はありませんでした。食事もおいしくお風呂やシャワー・洗たく機までもあり、室内は清潔で、甲板にいればいつでも海を見ることができました。

このような素晴らしい環境のなかでの研修は、私にとって大変意義あるものでした。なかでも、コース研修では新

聞作成の基本であるレイアウトを教わり、自分たちの新聞を苦しみながらも作りあげたことは、とても勉強になりました。また、自分の意見を大勢の人の前で話すことができ

るようになり、また、楽しいレクリエーションをたくさん覚え、だれとでも言葉を交わすことができるようになったことも大変な収穫でした。

西安での現地研修では、華



視野も第22回青年の船に乗って...あなたもぜひ参加してください

清池・兵馬備博物館・大雁塔など中国の歴史の偉大さ自分の目で確かめることができました。また、日本語学校の学生との青年交流や幼稚園の訪問をして、貧しい暮らしの中でも、彼らが純粋で、情熱的で、誠実な心をもっていることを知り、日本の豊かさに対する疑問をいだきました。

今月は「雑祭り」の話という、みなさんの中にはまだ四月三日には早すぎると思う人もいるでしょう。しかし、本来は、三月三日に行われた行事なのです。そして、これは上巳(じょうじ)の節供とも呼ばれていました。上巳(じょうじ)というのは、もと三月初めの巳(み)の日に行われたからです。その後三月三日に変わり、中国ではこの日を節日として、水辺で祓(はら)いなどを行ったといわれています。その習慣が日本に移入され、五節供の一つに加えられたものです。

代中期になると布製の座り雛が作られ、雛壇の数も次第に増していきました。やがて京都で次郎左衛門雛、江戸で古今雛などの名作が生まれ、現在までこの二系統を引くものが雛人形の中心になっています。雑祭りは公家から武家に広がり、次第に町人の間にも流行し、貞享年間(一六八四〜一六八八年)には、江戸の人形町や尾張町などで、雛市が立つたりしました。年々ともにも雛道具も華美になり、明治になってからは、いっそうその度合いを増して、民間に広く普及していきました。

では、雑祭りはいつ頃から一般に普及したのでしょうか。これが三月三日の節供に飾られたのは江戸時代初期の頃です。その頃の雛は室町雛や享保雛などと呼ばれる紙の立ち雛でした。それが江戸時

現在では、内裏雛・三人官女・五人囃子・隨身・衛士など、十五体一組としていますが、内裏雛などが平安時代の風俗であるのに、五人囃子だけは室町時代以後の能楽の囃子をかたどっていたり、道具も平安時代の御所車と江戸時代の御駕籠とを一緒に並べたりなど、時代とともに、だんだんと豪華さを加えられてきたものであることが明らかにうかがえます。

婦人団体連絡会が発足

富士川町婦人団体連絡会会長 尾崎 治子

昨年三月開催した「婦人まつり」を契機として、同じ富士川町で活動している婦人団体が「情報交換をして、連帯の輪を広げ、地域の和をはかり、余暇を有効に利用し、共に学んで社会参加を促したい」との願いから、六十三年十一月七日、十七の参加団体によって発足しました。

その発会式と記念講演を一月二十九日、農業新聞の論説委員、久保田将雄氏の「美しく心豊かに生きるために」という演題で、一時間半にわた

って拝聴しました。軽妙なジョークを交えてのお話しに場内に笑いが溢れ、喜んで聴いていました。一年・二年・五年経つてからどう活動しているかでこの会が評価される」とおっしゃられた時は、大変な宿題を出された思いがいたしました。

肉づけとなり、生涯学習につながるべくと思えます。この連絡会もその一端を担い、コミュニケーション作りへと発展したいものと願っております。せつかく発足したこの会が目的に添った活動をして行きますように皆様のご協力を仰ぎたいと存じます。



久保田将雄氏、語る

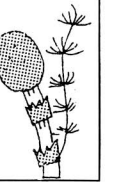
3月~4月の予定

- 3月 15日(水) まきの木大学閉講式(中央公民館)
18日(土) 卒業式(一・中・二小)
19日(日) 体育館婦人バレーボール大会
20日(月) 卒業式(一・小・二小)
21日(火) 富士川寄席(中央公民館)
26日(日) 親子絵画クラブ反省会
28日~31日(日) 中央公民館図書室休室
29日(水) 輪投げ大会(松野児童館)
30日(木) 宇多利児童館・松野児童館合同遠足

- 4月 2日(日) 春休み映画大会
4日(火) 入園式(岩淵保育園・松千代保育園・北松野保育園)
5日(水) 入学式
10日(月) 入園式
16日(日) 町民ハイキング

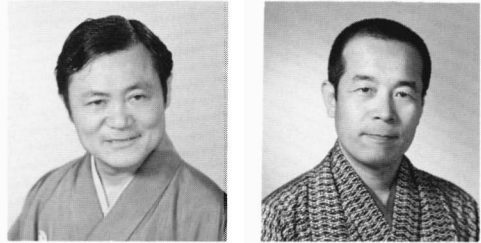
雑祭り

紙の立ち雛から 布の座り雛へ



富士川寄席は

三月二十一日です



宝井馬琴師匠

林家木久蔵師匠

諸事情により、延期させていただきました。三月二十一日(火)に行うことになりました。テレビ、ラジオ等でおなじみの「落語家・林家木久蔵、講談家・宝井馬琴」の出演です。長い歴史の中で洗練されてきた大衆芸能・話芸を味わってください。尚、前売券は中央公民館、教育委員会にありますので、皆さんお揃いでお出かけください。

図書室だより

今月は新しく購入した図書を紹介しましょう。

- 新刊図書コーナー
ふたり... 赤川次郎
男たちへ... 塩野七生
女人源氏物語瀬戸内寂聴
夢あわせ... 半村良
未知子... 諸井薫
海馬(トド)... 吉村昭
哀しい予感... 吉本ばなな
浮島... 渡辺淳一

● 児童図書コーナー

- おおきな木
どろんここぶた
ぼくにげやうよ
いやいやえん
けんた・うさぎ
三月ひなのつき
たのしい川べ
長くつ下のピッピ
冒険者たち など

消費税こうやればいい
山本雄二郎



このようなお手紙が届きました

ハイ！始めまして。長い都会生活にピリオド。この町に移り早三年、いわゆるよそ者。テニス、ゴルフの相手はなく、何とかコミュニケーションをと考え、今も続けているヨガ・エアロビクスを通じ、皆さんと交流できたらと募ったところ、うれしいことに参加者多数。「あ、足が上がらない」など、滑って転んで、「ワツハツハ」。それでも元気にワン・ツウ・スリ。

「活気のない町、つまらない」と、そんな私の思い過ぎしも吹き飛んで、今では人の優しさ、親しみを唯一、誇りにしています。ヨチヨチ歩きで始めた会も、この素晴らしい富士川町から見える富士山の裾野のように広がるか、つばみのままで終るのか、全く先はわかりません。

今日の健康に感謝し、明日に優しい微笑を。そして私を信じてついて来てくれる方のある限り、この幸せをかみしめて、みんなですてきに年を重ねつつ、がんばりたいと思います。またいつの日か、この続きをお知らせできるアデュー。

旭町 中野史絵

富士川駅開業百周年で、楽しい絵がいっぱい

『富士川駅開業百周年』を記念して、町内の小学生から絵を募集したところ、三百点の応募があり、その中から六十点が2月1日から15日まで、待合室に展示されました。



最優秀賞の作品



佐野嘉彦さん (南町二) 第2小学校3年

蒸気機関車が大好きで、松野の街の中を、蒸気機関車が黒い煙を出して走ったらいいなと思って書きました。

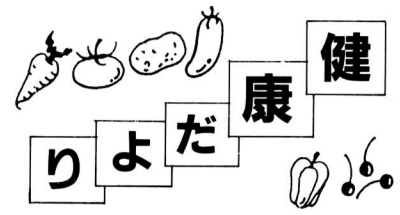


高塚潤子さん (東町二) 第1小学校6年

クラスの仲間四人で相談して応募しました。帽子のデザインは、駅まで足を運び、実物を見せてもらって、書きました。まさか入賞するとは思っていませんでした。うれしい。

健康カレンダー

現在、私たち保婦は平成元年度の「富士川町健康カレンダー」を作成しています。前年度の健康カレンダーと同様、町の行事や風景などのスナップ写真をとり入れ、年間の保健事業、町や各学校の大きな行事などを掲載しています。



健康カレンダーの終りには、保健事業の内容や老人保健、国民保険の簡単な紹介もありますので、ぜひ、参考にしてください。また、各月の健康カレンダーには、まだ余白がありますので、家庭内の行事や予定などを、どんどん記入してほしいと思います。これまでの健康カレンダーとは、一味違うところがあります。

みなさんの家庭では、今年の健康カレンダーが掛かっているとありますが、この健康カレンダーも三月の末までには配布できると思いますので、みなさんの健康づくりのために、ぜひ、目のつくところに掛けてください。

ろもあります。それは各月に、健康に関する標語が掲載されていることです。この標語は小学校、中学校を通じて募集したもので、応募総数は千四百点もあり、とても嬉しく思いました。この中から各月のテーマにあった十二点を選ばれ、掲載されることになりました。さて、どこの、だれの、どんな作品がカレンダーを飾っているか、楽しみにお待ちください。

俳句会

〈文協俳句会〉

枇杷の花日暮れの羽虫集りやすく
颯爽と女の混じる寒念仏
集まりてかしまる子に涅槃粥
頬白の尾を振る剪定済みし柿
雪解露灯して寄木細工売る
糸口のほぐれて雪解はじまれり
平成といふ元号の朝生米買ふ
祭り好きの男のめくる初暦
大焚火部落総出の顔合せ
本買って帰る坂道虎落笛
八階の病窓叩く寒の雨
冷えびえとガラスに映る朝の月
掌にまわりし独楽の目が光り
通院の子と歩む坂梅咲けり
軒貸して目覚しとなる寒雀
月光の葉隠れにゐる寒椿
小松菜のおひたし青き夕餉かな

南町二	法月 幸子
南町一	影島 智子
大北町	天野 たま
南町一	上野 君江
南町一	上野みつ子
南町一	田辺つき子
旭町	笠井みち子
南町一	錦織 和子
南町一	後藤万知子
南町一	佐野美代子
南町二	久保田恒子
南町二	宇佐美澄江
清水町	村上千里江
富士松野	市川美代子
官町	望月 章子
上町	大石 誉子
相生町	斉藤 延子

2月の交通事故

人身事故	5件 (6)	合計	14件 (11)
物損事故	9件 (5)		
富士川身延線	3件 (3)		
国道一号线	3件 (3)		
町道	6件 (4)		
県道	2件 (1)		
その他	0件 (0)		

()は昨年

戸籍の窓

平成元年1・15(2・14届出分)

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄	区名	氏名	年齢
上町	筭井麻衣子	康光	幸町	芦川祐輔	正直
川坂	小永井拓也	功	東町一	渡邊公美	友由
新町	芦澤裕太	秀幸	清水町	小池雅人	涉
新町	望月喜和	統之	大北町	佐野良河	幹広
宮町	米山 仁弘	一	俣下町	小川博史	文夫
小池	木本雄基	修久	室野	望月カツコ	六三
小池	吉野 惠	集	室野	望月ふみ子	七八
小池	長澤祐美	芳則	上町	望月以和子	八六
本通三	山本明日香	一彦	上町	望月きみ	八九
幸町	松田拓也	祐輔	川坂	白鳥静枝	七五
幸町	渡邊和希	利昭	川坂	若月満太郎	八九
幸町	小野惠理香	清孝	宮町	若月満太郎	八九
			小池	若月満太郎	八九
			大楽窪	望月照吉	七四
			中垣	吉幸	七〇

かなしみ

一里塚



幸町 佐藤里恵 四
 南町二 小林光雄 三八
 富士見町 井出開作 八三
 富士見町 清水雅信 七二
 富士見町 佐野源五 七四
 八幡町 中村壽勝 四二
 八幡町 野村カネ 八三

このごろ金融機関では、完全週休二日制、あるいは某デパートのように週休三日制と、いうように余暇の時間が急速に増えつつあります。私の職場でも休日が増えています。体がづくりのためにテニスをポチポチやっております。一口

子屋



町への寄付金(敬称略)

(木伏貴彦)

- 一月二十一日(2月十五日)
- 社会福祉事業へ
- 三万円 伊東新一郎(四十九町)
- 三万円 白鳥 要(塚町)
- 三万円 若月きく(川坂)
- 社会福祉事業寄付金
- 三万円 パチンコ・ラッキー松野店
- 十万円 若月 鈿(川坂)

お母さんの知恵袋

近海の魚を食卓へ
 もっとも多いのが、サバ・イワシです。

この二種類は現在でも、安い魚ですが、これからも値上りの要素が少なく、手頃に利用できます。サバは、近海魚の代表として親しまれていますが、今後も重要なタンパク源として、有効な利用が期待されます。サバは春と秋が旬と言われ、しめサバ、サバずし、塩焼き、みそ煮、たつた揚げ、フライなどの料理方法があります。

イワシは一年中とれますが、秋から冬にかけてとれる物が一番おいしく、炭焼き、バター焼き、マリネ、ぬた、フライ、つまみ入れ、イワシ飯、甘酢あんかけなどが知られています。

(婦人会 佐野)